



スキー協通信

No.428

発行
2020. 7. 1

東京都勤労者スキー協議会

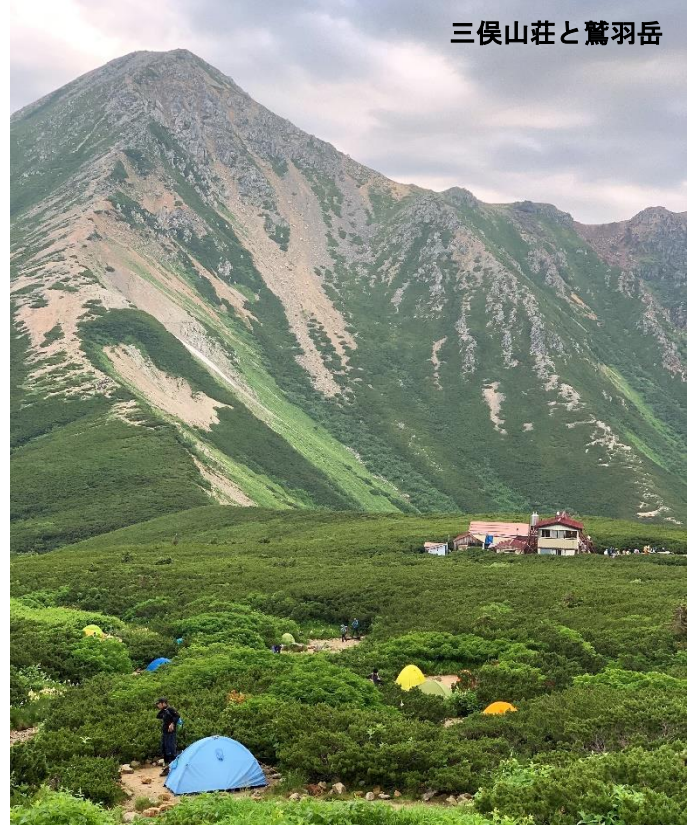
〒170-0013 東京都豊島区東池袋2-39-2大住ビル4F 03-3971-4144
ホームページ：<http://www.tokyoskiko.org/> E-mail：info@tokyoskiko.org
ゆうちょ銀行口座： 00110-7-88004（東京都勤労者スキー協議会）
00140-5-659281（東京スキー協スキーメイト係）
広報局専用 E-mail：skikyo_koho@yahoo.co.jp

発行責任者
出崎福男

太郎平



三俣山荘と鷲羽岳



北アルプスの朝



双六池



北アルプス 思い出の山旅

今年の夏は、思うように山歩きが楽しめないかもしれません。こんな時は、思い出の写真を眺めながら、新しい計画を練るのも良いのでは・・・

写真提供：奥屋和俊（雪けむり SC）

目次

リレーエッセイ「雪紋」／組織局からの報告	2・3頁
山岳スポーツ再開に向けたガイドライン発表	3頁
教育技術局より／会議の報告／7・8月の予定	4頁

※第53回定期総会は、10月29日を期限とした「書面表決」となり、後日詳細を案内いたします。

昨年の年末から始まったコロナ騒動は終わりが見えません。暑いのにマスクを着用しないと通勤の車内では白い目で見られます。薬やワクチンは未だに存在せず、世界各国が血眼になって開発中です。薬やワクチンが開発されたとしても、本当にコロナ騒動が収まるのかどうかは疑問のあるところです。

どうやら、今回のコロナ騒動は「with コロナ」のスローガンよろしく、「新しい生活様式」に沿った態度が求められています。東京スキー協でも毎月の常任理事会をはじめ各行事に絶大なる影響をおよぼしています。東京スキー協の総会は10月29日を期限とした「書面表

決」となりました。また、公認資格者登録や会員登録・会費納入はこれまで通り8月20日が締め切りです。各クラブにおいて「総会」の日程が決まっていないところも多いでしょうが、締め切りには十分に注意が必要です。

良いところもありました。各会議をオンライン化することで、時間と金が削減できました。まだ会計資料は出ていませんが、来年度は各部署の活動交通費が大幅に削減できる見通しです。東京スキー協の財政に貢献できるのではないのでしょうか。

これからは「with コロナ」でスキーを考えなくてはなりません。

組織局からの報告

クラブアンケート集約状況

6月10日に締め切りましたクラブアンケートへのご協力、誠にありがとうございました。4月末で1次集約し、更に全クラブからの回答をお願いしたところ、17クラブからの回答を頂きました。報告いただいたアンケートは総会別添資料として活用させていただきます。

内容を見ますと、シーズン当初は暖冬で積雪が少なかったこと、後半は新型コロナウイルスの影響で活動を自粛もしくは中止したなどで、クラブが企画した行事を十分実行出来なかったようです。活動の基本である例会は会議室が利用できない、3密が心配などの理由で開催が難しい中、WEB会議など工夫したクラブもありました。オフシーズン活動ではBBQやテニス・ハイキングなどクラブ員だれもが参加しやすい企画が目立ちました。

各クラブ総会日程について

新型コロナウイルスの影響で、全国及び東京スキー協の総会が延期となりました。当然各クラブ総会開催にも支障が起きていると思われるため、5月21日開催の常任理事会（オンライン）に於いて「クラブ総会開催アンケート」を緊急に実施することを決めました。

6月10日締め切りという非常に短い期間での取り組みでしたが、多くのクラブのご協力を頂きました。回答を頂いた24クラブのうち、開催が決まっているクラブ12、未定は12でした。3密を避けるため、まだクラブ総会開催を決めかねているクラブが多いようです。屋外でのBBQ、中華料理店を利用などして開催を予定しているクラブもありました。未回答は6クラブでした。

すでに東京スキー協は、総会を10月29日「書面表決」の方式により実施することを常任理事会で決定しました。詳細については7月の常任理事会で検討し決定します。各クラブでも会議方法など工夫した総会開催が求められています。

会員登録の依頼について

毎年、各クラブの総会終了後に会員登録をお願いしています。新型コロナウイルスの影響で、今年は全国・東京スキー協総会が延期になりました。クラブ総会も開催できないところが多く、会員登録も難しい状況となります。しかしながら、同時期に行なわれる指導員登録とも密接に関係しているため、例年どおり8月20日の締め切りをめざして会員登録を実施していきたいと思えます。

全クラブには、7月末に52期の名簿とともに、担当者カード・新会員報告書などを送付します。年会費の納入とあわせて、提出のほど宜しくお願いいたします。

山岳四団体 山岳スポーツ再開に向けたガイドライン発表

スキー協会員のみなさんの中にも山歩きを楽しんでいる方が多いと思います。夏山の計画を立てている方もいることでしょう。しかしまた新型コロナウイルスの感染者が増加してきています。5月25日に山岳四団体から発表されたガイドラインを掲載しますので、参考にしてください。

「自粛」要請解除後の登山・スポーツクライミング活動ガイドライン

感染させない、感染しないために

1. 近距離(100km 圏内程度) でできるだけ都道府県を跨がない日帰り登山から始めましょう。
2. 体調不良(平熱を超える発熱、悪寒、倦怠感、息苦しさ、咳等)での登山は止めましょう。入山後にコロナ感染発症すると命に関わり、救助隊、収容先地元医療機関に多大の迷惑を及ぼします。
3. 登山は、少人数で行いましょう。(パーティーは、当面5名以内で。)
4. 自粛期間中、季節や地震による山容の変化、登山道の荒廃など思わぬ危険が潜んでいます。十分な登山ルートの下調べと地図、コンパスの持参、登山届けは必ず提出し、家族にも残しましょう。
5. 登山中でもマスクを着用しましょう。マスク着用時は、熱中症及び脱水には十分留意し、こまめに水分摂取を心がけましょう。
6. 登山、クライミングジムでのソーシャルディスタンスを守りましょう。一般的には2メートル前後ですが、登山中の場合は、さらに距離が必要と言われています。また、クライミングジムでは建屋構造、利用人数等で制限がありますので、ジムの指針に従って行動してください。啞えロープ、滑り止めなどもジムの方針に従ってください。
7. 登山山域内での買い物や、下山後の呑み会等も地元住民への感染防止の観点から控えてください。食材、飲料、緊急食などは出発前に揃えておきましょう。
8. 自粛中に衰えた筋力、体幹を鍛えましょう

《山岳四団体》 公益社団法人 日本山岳・スポーツクライミング協会、 日本勤労者山岳連盟
公益社団法人 日本山岳会、 公益社団法人 日本山岳ガイド協会

教育技術局より 2020年スキーセミナー中止のお知らせ

新型コロナウイルスの影響を受け、9月に予定をしていた「2020 スキーセミナー」は中止いたします。なお、10月17日(土)開催予定の「指導員ミーティング」を「理論研修」として行えるように計画しています。8月中旬に詳細が決まり次第、東京スキー協ホームページ、東京スキー協通信、指導員向けの通信「スキーリーダー」でお知らせいたします。

会議の報告

第12回常任理事会 2020.6.18(木)

ZOOMによるオンライン会議

出席者：13名中10名

<主な内容>

- 各クラブの総会準備状況(6月15日現在集計)
開催の決まっているクラブ：12クラブ
開催日程の決まっていないクラブ：12クラブ
未回答：6クラブ
- 東京スキー協総会の延期時期と開催方法・準備について
 - 延期時期と開催方法
2020年10月29日(木)を期限とした「書面表決」という方法で開催する。代議員数はクラブから1名と役員(35名)とし、代議員定数は65名となる。役員選出をどうするかが課題で、基本は今期役員の留任とすることも検討する。
 - 総会議案を論議する理事会の開催について
8月30日(日)午後、オンライン会議で開催する方向で進める。理事のインターネット環境を調査し7月の常任理事会で詳細を決定する。
 - 総会代議員からの質疑応答と意見の反映
- 各部署からの報告についての確認事項
 - 教育技術局：スキーセミナー中止についての提案を確認・承認した。通信、HPに掲載する。
 - 総務局：決算は例年どおり4月末締めとする。交通費を入れれば会計監査ができる状態。
 - 広報局：例年は出していない通信7月号を発行する。原稿締切6月26日。
- 今後の常任理事会開催方法について
 - レジメを会議の4日前に配布する前提で、オンライン会議を継続する。オンライン会議のサービス、ZOOMの年間登録料(2万円+消費税)は東京スキー協の活動費から支出する。
 - 常任理事会開催にともなう交通費は、昨年度は約6万円だが、今期はオンライン会議とした分は交通費が不要になる。常任理事会の概ね半分以上をオンライン会議とすることで、ZOOMの年間登録料が発生しても財政全体としては節約になる。局会議、委員会会議も可能なところではZOOMを活用し、交通費の削減をはかる。

7・8月のカレンダー

7月	行事名	8月	行事名
7/6(月)	通信発送		
7/16(木)	常任理事会(オンライン会議)		

編集後記 **エビノシッポ**

7月5日、ようやくクラブの総会が開けた。会場は、定員の半分、窓を開けて換気、飲食もダメ、健康チェックなど制限が多かったが、例年より参加者が多かった。長期の「巣ごもり生活」が続き、仲間との語らいができて嬉しかったと言われた。行事の移動手段、宿舎など課題が山積みだが、期待はいつもより大きい。不安を抱えながらの出発だが、できることから足を踏み出していきたい。(モルゲンローテ K.M.)